

# 特別の教科 道徳

## I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された「特別の教科 道徳」の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長		
教科 独自 観点	(1)	児童の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。
	(2)	児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。
	(3)	指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。
	(4)	公正な視点から、児童の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えられるよう適切に配慮されているか。
	(5)	現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。
	(6)	家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通 観点	(1)	文章は、わかりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

## II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

### Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点	発行者	東 書	教 出	光 村
<p>1 上での 特長</p> <p>教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る</p>	<p>(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、構成となっており、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容。</p>	<p>・いじめ問題・情報モラル・SDGsなど現代的な課題を考えさせる教材を取り入れることで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。</p>	<p>・いじめ問題について、体験的な学習の教材、イラストから学ぶ教材などを取り入れることで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。</p>	<p>・生命について実感を伴うことができるような教材、いじめ問題や情報モラルなど現代的な課題を考えさせる教材を取り入れることで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。</p>
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p>	<p>・6年「世界で活やくする日本人たち」では、本県にゆかりのある歌手のMISIAさんを紹介することで、関心を高められるよう配慮されている。</p>	<p>・5年「世代をこえた思いやり」では、長崎県の高校生による寄付の話を紹介することで、本県への関心を高められるよう配慮されている。</p>	<p>・3年「ふるしき」の学習とつながる付録「日本につたわる『くらしの道具』」では、波佐見焼を紹介することで、本県への関心を高められるよう配慮されている。</p>

### III 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		日 文	光 文	学 研
1 での の特 長	(1) 教科の特質に 応じて、「教育の 目的」及び「教 育の育成に資す る内容、構成と なっているか。	・いじめ問題を直接的・間接的に考えさせる教材を学期ごとに取り上げることで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。	・いじめ問題、生命、人間関係を中心とした学年独自の主題を設けることで、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。	・生命といじめ問題の教材を関連させることで、いじめを生まない力を身に付け、生命尊重、友情、思いやりの心、社会性など豊かな人間性を育むことができるよう配慮されている。
	(2) ふるさと長崎の 伝統・文化や歴史、 自然について理解を 深める学習に生かせる 題材が扱われているか。	・6年「心のベンチ 平和に向けて-私たちが知り、つないでいく-」では、長崎原爆犠牲者慰霊祈念式典を紹介することで、本県への関心を高められるよう配慮されている。	・3年「世界一うつくしい体操をめざして」の内村航平選手や、6年「いろいろな人と共に生きるために」のMISIAさんなど本県にゆかりのある人物を紹介することで、関心を高められるよう配慮されている。	・3年「心のパスポート」で、長崎くんちを紹介することで、本県への関心を高められるよう配慮されている。

### Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点	発行者	東 書	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長</p>	<p>(1) 児童の発達のために適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の後に、「考えよう」を設け、発問を提示することで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。</li> <li>「つながる・広がる」のコーナーを効果的に配置することで、発達の段階に即して、学習や生活につなげることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の後に、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」などの視点を設けることで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。</li> <li>教材文の後に、効果的にコラムを設けることで、発達の段階に即して認識をさらに深めたり、考えを広げたりすることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の後に、「考えよう・話し合おう」の視点を設けることで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。</li> <li>2年生以上には、「つなげよう」の視点を設けることで、日常生活や他教科と関連付けた学習ができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) 児童が深く考えることができ、人間と与えられよう適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年生までは身近な題材や物語を、5・6年生では、先人や著名人、スポーツ選手などを取り上げることで、教材を身近に感じ、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生までは、日常生活での事例や物語を、4年生以上で、先人や著名人、スポーツ選手などを取り上げることで、自分との関わりで考え、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年では、身近な題材や物語を、高学年になるにつれて先人や著名人、スポーツ選手などを取り上げることで、自分のよさや可能性に気付き、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) 体験的・探究的な学習等について適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「問題を見つけて考えよう」や「演じて考えよう」「考えるためのツール」を設けることで、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やってみよう」「問題を解決しよう」のコーナーを設けることで、道徳的行為に関する多様な体験的な学習ができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「演じて考えよう」「道徳で使う言葉」「図を使って考えよう」「こんな活動で考えることもできるよ」を設けることで、多様な学習形態へとつなげることができるよう配慮されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点	発行者	日 文	光 文	学 研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長</p>	<p>(1) 児童の発達のために適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の視点を設け、別冊に自分の考えを記述できるようにすることで、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。</li> <li>「心のベンチ」のコーナーを効果的に配置することで、広い視点で物事を捉え、他教科と関連付けた発展的な学習展開ができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の後に、「考えよう」として、中心発問に加えて、視点が異なる発問を掲載することで、ねらいに迫ることができるよう配慮されている。</li> <li>教材間にコラムを設けることで、道徳の学習で学んだことを実生活や地域社会へつなげることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文の後に、「考えよう」として二つの発問を提示することで、学習のねらいに迫ることができるよう配慮されている。</li> <li>考えるきっかけや内容をマークで表し、教材中に効果的に配置することで、発達の段階に即して考えを深められるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(2) 児童が深く考えることができ、人間とらしてよりよく生きる喜びや勇気を与えているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年では、心を捉える読み物教材を、3年生以上では、先人や著名人、スポーツ選手などを取り上げることで、努力や諦めない気持ちを学び、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年で、身近な題材や物語、先人や著名人、スポーツ選手などを取り上げることで、人物の苦悩や努力などを生き方から学び、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年で、身近な人物、先人や著名人、スポーツ選手などを取り上げることで、努力や諦めない気持ちの大切さに気付き、よりよく生きる喜びや勇気を感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(3) 指導方法や問題解決の工夫が適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぐっと深める」を設けることで、道徳的価値の理解をより一層深め、問題解決的な学習や体験的な学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなでやってみよう!」「へこんでも立ち直る」を設けることで、実際の問題場面を想定した体験的な活動を通して、より深い学びが引き出せるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「深めよう」「心のパスポート」を設けることで、道徳的価値を自分との関わりで考え、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点	発行者	東 書	教 出	光 村
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長</p>	<p>(4) 公正な視点から、児童の発達に即して、物事を多面的・多角的に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分事として考えさせるために、教材文中の登場人物の心の中を説明する文言を削減することで、多様な考えを引き出し、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文終末を登場人物の悩みや葛藤、心の揺れが表れている場面で終わるようにすることで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう・話し合おう」で主人公だけでなく、他者の立場からも考えさせることで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(5) 現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ問題」については、複数教材（直接的なもの・間接的なもの）やコラム等を連続して配置することで、いじめをしない・許さない態度を育成できるよう配慮されている。</li> <li>・情報モラル教育については全学年で、SDGs・キャリア教育等については、学年に応じて教材を配置することで、系統的に学習できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ問題」「情報モラル教育」については、発達の段階に応じて、関連する複数の教材を配置することで、児童それぞれが自分自身との関わりの中で考えを深めることができるよう配慮されている。</li> <li>・上記以外の「現代的な課題」については、各学年2教材を配置することで、系統的に学習できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ問題」（全学年）と「環境教育」「共生問題」（3年生以上）については、関連する2教材とコラムを同時期に学習するようにしたことで、現代的な課題と向き合いやすいよう配慮されている。</li> <li>・情報モラル教育については、教材とコラムをセットにして全学年に配置することで、発達段階に応じた学びができるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(6) 家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材で学ぶ価値と情報モラルを関連させて保護者と一緒に考える内容を示すことで、学習したことを家庭や地域で生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材で家庭や地域のできごとを題材として取り入れることで、学習したことを家庭や地域で生かすことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり、友情や情報モラル等、保護者と一緒に考える内容を示すことで、家庭や地域社会との連携が促進されるよう配慮されている。</li> </ul>

### Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点	発行者	日 文	光 文	学 研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う上での特長</p>	<p>(4) 公正な視点から、児童の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心のベンチ」を配置し、教材文に関連した情報を提示することで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～6年では、「考えるヒント 図を使って考えよう」を設けることで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いのちの教育を土台とし、いじめや多様性について考えられる関連教材を複数配置することで、多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(5) 現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含め、広く題材の選択等を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ問題」については、年間3回のいじめ防止に関わる重点学習期間を構成し、年間を通して意識させることで、しっかりと考えることができるよう配慮されている。</li> <li>情報モラル教育、SDGsは全学年配置され、学年によって複数の教材を配置して重点化することで、指導が必要な学習内容を網羅できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ問題」については、6年間の見通しを基に教材を配列することで、いじめを生まない心を発達の段階に応じて育成できるよう配慮されている。</li> <li>情報モラル教育については、教材とコラムをセットにして全学年に配置することで、発達段階に応じた学びができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ問題」については、年間を通してバランスよく様々な内容項目の関連教材を配置することで、他者としてよりよく生きることを考えられるよう配慮されている。</li> <li>SDGsなどの学習を全学年にバランスよく配置し、情報モラル教育については、発達の段階に応じた教材に加えて特設ページを設けることで、系統的に学んでいけるよう配慮されている。</li> </ul>
	<p>(6) 家庭や地域社会と連携し配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材を地域の魅力や生活を支える人とのつながりに目を向けさせる内容とすることで、地域との連携が促進されるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末尾の「ひろげよう」において、家庭や地域との関わりをもたせた活動を示すことで、学習したことが実生活につながるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭との連携を図ることが効果的である教材を「家庭連携」のマークで示すことで、家庭や地域との連携を促すよう配慮されている。</li> </ul>

### III 具体項目

特別の教科 道徳

発行者		東 書	教 出	光 村
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	(1) かな文章は、わかりやすく、質・量ともに豊か。記述内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年を通して、原則として当該学年の一つ下の学年までの配当漢字を使用したり、配当学年以上の漢字は、教材ごとに振り仮名を付したりすることで、教材理解が円滑に進むよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年を通して、教材内容を分かりやすい表現にし、無理なく学習できるようにすることで、考え、議論する時間が十分にとれるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年の教材では分ち書きがされ、3～6年の手引では単語や文節の途中で改行しないようにすることで、読み違いをしないよう配慮されている。</li> </ul>
	(2) 写真の関連性を高めるか。挿絵や学習効果に十分配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文に関する挿絵や写真を大きく掲載したり、配置を工夫したりすることで、興味・関心を引き、学習効果が高まるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵や写真を大きく掲載したり、漫画形式にしたりして視覚的に捉えやすくすることで、興味・関心を引き、学習効果が高まるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文に関する挿絵や写真を大きく示したり、必要に応じて、挿絵に登場人物の名前を添えたりすることで、学習効果が高まるよう配慮されている。</li> </ul>
	(3) レイアウトや紙質、色紙、製本等に配慮されているか。文字の大きさ、適切に挿絵が配されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材名だけでなく主題名も併記し、内容項目の四つの視点ごとに色・マークを変えることで、学ぶ内容を意識できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容項目の四つの視点ごとに、背景の色を変え主題名を記載し、教材名は別に配置することで、主題、教材名の両方に意識が向くよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容項目の四つの視点ごとに色分けしマークを入れ、主題に関連した問いかけを提示することで、学ぶ内容を意識できるよう配慮されている。</li> </ul>



### Ⅲ 具体項目

特別の教科 道徳

観点	発行者	日 文	光 文	学 研
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	<p>(1) 文章は、豊かな記述内容となっており、質・量ともに</p>	<p>・当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞等は、全てひらがなにすることで、読みやすくなるよう配慮されている。</p>	<p>・教材を漫画化し、文章を台詞にすることで、親しみやすく、分かりやすい内容になるよう配慮されている。</p>	<p>・平易な文章で表現したり、改行を工夫したりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。</p>
	<p>(2) 写真、挿絵、図表など、学習効果に十分配慮されているか。</p>	<p>・教材文に関する写真やイラストを大きく掲示し、興味・関心を引きやすくすることで、学習効果が高まるよう配慮されている。</p>	<p>・漫画形式や写真、一枚絵などレイアウトを工夫することで、興味・関心や思考が深まり、学習効果が高まるよう配慮されている。</p>	<p>・写真やイラスト、図表を見やすく配置したり、リアリティを追求した写真やイラストを提示したりすることで、学習効果が高まるよう配慮されている。</p>
	<p>(3) レイアウトや色、紙質、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等について、適切に配慮されているか。</p>	<p>・内容項目の四つの視点ごとに、色を変えマークと主題を記載し、教材名の横に前文やコメントを入れることで、学ぶ内容へ意識が向くよう配慮されている。</p>	<p>・内容項目の四つの視点ごとに、色を変え、主題名・教材名を記載し、主題に関連した問いかけを提示することで、学ぶ内容が意識できるよう配慮されている。</p>	<p>・内容項目の四つの視点ごとに色分けとマークを入れたり、主題に関連した問いかけを提示したりすることで、学ぶ内容が意識できるよう配慮されている。</p>